

実物日本鳥の巣図鑑

小海途銀次郎 コレクション展 ▶ 日本産鳥類の巣、約125種250点一挙に公開！



コガラの巣



クマタカの巣

あなたは、鳥の巣を見たことがありますか？

軒先などにかけてられたツバメの巣なら見たことがあるでしょう。でも、そのほかには？

多くの人にとって、ツバメ以外の鳥の巣は、あまり見る機会がありません。

鳥にとって、巣はヒナを育てるための大切な場所。

そんな場所がそう簡単に見つからないのは当たり前です。

そんな鳥の巣には、鳥がうまくヒナを育てるための

さまざまなノウハウが含まれています。

鳥の巣をみることで、鳥について、

ひいては鳥が暮らしている環境についてさまざまな事がわかるのです。

この特別展では、

日本で繁殖する鳥の巣を30年以上に渡って集めてこられた、

小海途銀次郎氏のコレクションを一挙に公開します。

氏の鳥の巣のコレクションは、日本でも有数の規模を誇り、

その一端は「日本の野鳥 巣と卵図鑑」(1999年 世界文化社刊)

に紹介されています。

図鑑の出版後、氏はさらにコレクションを充実させ、

現在約125種250点の日本産の鳥の巣を所蔵されています。

これは海鳥や離島で繁殖する鳥などを除く、

日本で繁殖する鳥の大半をカバーしています。

このコレクションを一挙に並べて、

「実物を使って日本で繁殖する鳥の巣の図鑑」

をつくってしまおうというのが、今回の企画です。

近年、同じ種の巣であっても、

巣の材料が自然物から人工物へ移り変わってきている例があります。

こうした所から、鳥が暮らしている環境の変化、

あるいはその中での鳥の暮らしの変化を見て取ることができます。

展示では、単に鳥の巣を並べるだけではなく、

本剥製や写真も使って、さまざまなテーマ性を持たせており、

鳥の巣を通じて鳥の暮らしを知ることができます。



アカゲラの巣

この特別展はさまざまな巣を一堂に見られるのが魅力です。その中には採集の苦労がしのばれる巣も少なくありません。

これだけのコレクションのためにどれだけの労力がかけられているんだろうか？

と考えながら見るのも一つの楽しみ方です。中でもぜひ見て欲しい巣を3つあげるなら、

- クマタカの巨大な巣・・・とにかく大きくて、木から降ろすのは大変！
- 土崖に掘られたカワセミの巣・・・一体どうやって採集したんでしょう？
- 地上のヨタカの巣・・・えっこれが巣？って感じ。

ぜひ実物の鳥の巣を前にして、鳥の生活と自然環境、そして巣のコレクターに思いをはせてください。

オオルリの巣



アオゲラの巣



ウグイスの巣

